

## 第4章 疾病対策の充実・向上

### 第1節 生活習慣病対策

#### 現状と課題

- 生活習慣病（悪性新生物（がん）、心疾患・脳血管疾患、糖尿病）の受療率の推移  
患者調査の結果から、本県においても生活習慣病の患者が増加傾向を示していることが明らかとなっています。

受療率（人口10万人当たり患者数）の推移

	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	糖尿病
平成9年	188	201	284	195
平成14年	223	228	307	237

（福井県患者調査）

- 本県の死亡原因の現状

本県の死亡原因の第1位はがんです。がん患者は増加傾向にあり、全ての県民が身近な地域において、一層充実した質の高いがん医療を受けることができる体制を確保する必要があります。

福井県の全死亡における死亡原因の割合

	死亡原因	全死亡における割合
1	悪性新生物	29.7%
2	心疾患	16.6%
3	脳血管疾患	12.9%
4	肺炎	8.9%

（平成13年人口動態統計）

- 生活習慣病に係る医療機能の状況

医療機能等調査の結果、生活習慣病に関する主な医療機能の医療圏ごとの状況は次のとおりであり、福井・坂井医療圏の充実が顕著である一方で、奥越医療圏においては近接する福井・坂井医療圏に依存する傾向がみられます。丹南および嶺南医療圏においては、ほぼ圏域内で対応が可能ですが、心疾患等の一部高度医療機能が不足しています。

医療圏ごとの主な医療機能を有する病院数

	医療機能	福井・坂井	奥越	丹南	嶺南	計
がん	内視鏡による早期悪性腫瘍粘膜切除術	22	2	13	6	43
	進行がんの集学的治療	8		4	1	13
	リニアックによる放射線治療	4			2	6
脳血管	脳動脈瘤手術	8	1	4	2	15
	経皮的冠動脈形成術(PTCA)	8	1	1	2	12
心疾患	開心術	3				3
	糖尿病教育入院	21	6	12	4	43

（医療機能等調査）

## 施 策

### 1 がん診療機能の強化

質の高いがん医療体制を確保するため、県内4～5か所程度地域がん診療拠点病院を指定し、国立がんセンター等と情報交換を行うことなど、地域の核となる医療機関の医療技術等のレベルアップを図ります。

また、拠点病院および地域の医療機関の医師等に対する研修を実施することにより、がん医療従事者の資質の向上を図ります。

### 2 陽子線がん治療施設の整備

財団法人狭湾エネルギー研究センターにおいて進められる陽子線がん治療研究の成果を踏まえ、県立病院における陽子線がん治療専用施設の設置について検討します。

### 3 救急医療体制の充実強化

心筋梗塞、脳卒中等の循環器疾患は、初期段階の迅速かつ適切な治療が重要であることから、救急医療体制の一層の整備を推進します。

#### 【用語の解説】

##### ● リニアック

現在の中心的な放射線によるがん治療機器で、強力なマイクロ波によって電子を直線的に加速させることによってX線を発生させ、体の外から体内の病巣部を治療する。

##### ● 陽子線がん治療

加速器により陽子（水素原子の原子核）を加速して高速にしたものを病巣部に照射する放射線治療法。この治療法は、正常な細胞を避けて、深いところにあるがん細胞を効果的に壊すという特色を持ちます。

##### ● 地域がん診療拠点病院

質の高いがん医療を広めるため県が推薦した病院を「地域がん診療拠点病院」として国が指定するものであり、①肺・胃・大腸がん等多いがんについての専門的医療 ②拠点病院内や地域の医療機関の医療従事者に対する研修 ③地域の医療機関や住民に対してのがん医療に関する情報提供が主要な機能。